

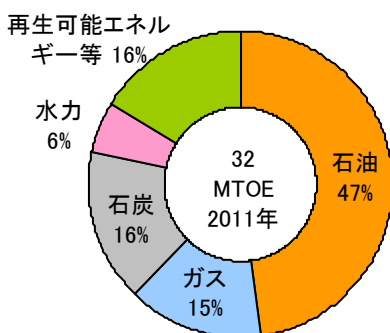
### 3-8 チリ

#### 1. サマリー

##### 1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2011年) : 32 百万 TOE (日本の 7%)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2011年) : 1.88TOE/人 (日本の 52%)
- (3) エネルギー自給率 (2011年) : 28%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2010年) : 69.7 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 6.1%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2010年) : 4.08CO<sub>2</sub> 換算 ton/人 (日本の 45.5%)
- (6) エネルギー源別可採年数 : -

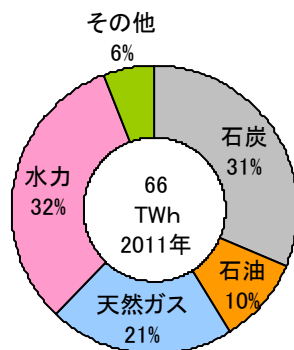
一次エネルギー供給構成 (2011年)



COUNTRY: Chile

(出所) IEA, Energy Balances of OECD Countries 2012 Edition

電力供給構成 (2011年)



COUNTRY: Chile

(出所) IEA, Energy Balances of OECD Countries 2012 Edition

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- 2010年2月にエネルギー省が創設された。同省はエネルギー全般に関する規制や政策を担当し、石油価格の決定、エネルギー需給展望などを担う。エネルギー省の創設に伴い、従来エネルギー政策を担当していた CNE は価格、料金、技術基準などの分析を行なう技術的機関、エネルギー統計機関となった。エネルギー大臣は、2012年10月時点、Jorge Bunster Betteley 氏である。
- 鉱業に関しては、鉱業省が管轄している。2012年10月時点、大臣は Hernán de Solminihac Tampier 氏である。鉱業に関係する主な機関として、チリの資源などの地図を作成する Sernageomin、中小の鉱山開発を促進・支援する Enami、国営銅生産公社 Codelco、チリの鉱山開発政策の実行・監督機関 Cochilco がある。なお、Codelco は世界最大の銅生産会社である。

### (2) 基本政策

- 2012年2月、IEAのEnergy Policy Review (2009年)の提言を受けて、エネルギー省は新しいエネルギー政策「NATIONAL ENERGY STRATEGY 2012-2030」を発表した。新しい政策は電力に焦点を当てている。ポイントとなる6つの柱は以下のとおり。
  - 1) 省エネルギーの推進
  - 2) 非在来型再生可能エネルギーの推進
  - 3) 水力開発によるエネルギー輸入依存度低減
  - 4) 国内送電網の強化
  - 5) 電力市場の競争促進
  - 6) アンデス諸国間の送電網連結

### (3) 最近の動向

- 2012年8月、チリの GNL Quintero はチリ中部 Region V にある Quintero LNG 輸入基地の再ガス化能力を、現行の 1,000 万 m<sup>3</sup>/d から 1,500 万 m<sup>3</sup>/d に拡大するプロジェクトを開始した。

## 3. 日本とエネルギー分野における関係

- 現時点でチリと日本との間にエネルギー取引はない。
- 2012年9月、JX 日鉱日石金属と三井金属鉱業の共同出資による銅事業会社パンパシフィック・カッパーは、JOGMEC からチリおよびアルゼンチンにまたがる Frontera 地域における銅・金資源の探鉱権益を譲り受けた。

## 2. 主要エネルギー指標

(2011 年)

(1)	一次エネルギー供給量	32 百万 TOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	1.88 TOE/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.22 TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	28 %
(5)	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	69.7 百万 CO <sub>2</sub> 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	4.08 CO <sub>2</sub> 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率	
	石炭	16 %
	石油	48 %
	ガス	15 %
	原子力	0 %
	水力	6 %
	再生可能エネルギー等	16 %
(8)	エネルギーの輸入依存度	72 %
(9)	石油の輸入依存度	96 %
(10)	輸入原油の中東依存度	0 %
(11)	原油輸入先	
	第1位	ブラジル
	第2位	コロンビア
	第3位	エクアドル

(出所) (1) ~ (4) 及び (7) ~ (9) は IEA, Energy Balances of OECD Countries 2012

(5) ~ (6) は IEA, CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2012

(10) ~ (11) は CNE 統計。